

大規模なインフラ投資

世界のインフラ投資額は現在106兆ドルに達しており、2050年までに世界全体で150兆ドルに達すると予測されています。



運用上の構造的乖離

物理的な社会インフラは20年から40年のライフサイクルで運用されるのに対し、ソフトウェアのサポート期間は短期的です。



深刻な脆弱性によるオーバーヘッド

同一のセキュリティ バグを個別に追跡することは、企業にとって膨大な重複したエンジニアリング上の責任を生み出すことになる。



超長期サポート (SLTS)

CIPは、標準的なLinuxカーネルを10年間のSLTSベースラインに変換し、長期にわたる産業用途に対応します。



メインライン上流優先戦略

すべてのコード変更をまずLinuxのメインラインにマージすることを義務付けることで、独自仕様のフォークを防ぎ、総所有コストを削減します。



相互に連携した規制遵守

加盟組織は、EU Cyber Resilience Act (CRA) のような厳格な規制に対応するため、技術的なリソースを共有します。



CRAの厳しい法令違反罰金

CRAの罰金は最大1,500万ユーロ、または全世界売上高の2.5%に達する可能性があり、共通の法令遵守体制の構築が不可欠となります。



自動化された継続的テスト

CIPはKernelCIと統合し、SLTSパッチを実際の産業用リファレンス ハードウェアに対して継続的に検証します。



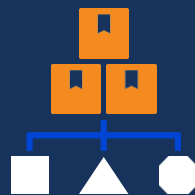
サプライチェーンセキュリティの厳格さ

OpenSSFゴールド認証を取得し、暗号署名付きリリースを義務付けることで、エンドツーエンドのソフトウェア サプライチェーンの完全性が保証されます。



統一された企業基準

産業企業は、CIPを活用して、多様な複数部門にわたる製品ライン全体にわたって単一の社内Linuxディストリビューションを構築しています。



エコシステム ハードウェアの整合性

協調的なガバナンスは、物理的なシリコン開発ライフサイクルと固定されたSLTソフトウェア リリースとの間の運用上のギャップを埋める。



国連SDGsとの整合性とインパクト

CIPは、差別化されていないオープンソース コードを標準化することで、世界中の社会インフラの安全性を確保し、国連のSDG目標9を直接的に推進します。

